

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上  
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

【資料3】

基本目標1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)→7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	5→7	A	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により2件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延34人(実11人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
			実績値	0	4	3	3	2				
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	40	40	40	C	内訳 介護人材育成支援事業:0人、雇用創出事業:0人、看護学生修学資金貸与事業:21人 ・介護人材育成支援事業は、実績値もおおむね目標を達成する見込みであり、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた当該法人による積極的な取り組みにつながっている。 ・雇用創出事業は実績が無かった。 ・看護学生修学資金貸与事業は、学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が市立病院に就職した。
			実績値	5	0	27	22	21				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
<b>(1) 産業の競争力強化</b>											
<b>1) 農作物のブランド化の推進</b>											
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 /5戸(平成26年)→20戸(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	20	20	20	C	特別栽培米の作付農家は昨年度より減少した。当該補助制度を農業者へ周知し、特裁米作付農家の増加を図る。
		実績値	—	11	16	16	13→12				
<b>2) 6次産業化の取り組みの推進</b>											
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 /2戸(平成26年)→5戸(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	5	5	5	A	農業者へ、国・道の補助事業のほか、各種情報提供を行い、6次産業化の促進を図る。
		実績値	2	4	6	7	7				
<b>3) 商工業振興策の実施</b>											
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 /5件(5年間)→6件(6年間)	目標値	1	1	1	1	1	1	5→6	A	新規創業が2件あり、そのうち空き建築物を活用した新規開店が1件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。
		実績値	4	6	2	2	1				
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 /5件(5年間)→7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	5→7	A	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により2件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延34人(実11人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	0	4	3	3	2				
地域ブランド構築事業	チームを構成する事業者数 /5事業者(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	5	5	5	A	令和元年8月29日にオアシスリハパブリックプロジェクトを設立した。今後とも事業者の参加を促し地域内消費の最大化を目指す。
		実績値	—	—	—	—	21				
地域ブランド構築事業	地域ブランドの商品数 /10品(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	10	10	10	A	東京展示会において22商品を展示し商談した。今後は、チームを構成する事業者同士の連携商品も新たに生み出し、商品数の増加を図り地域内消費の最大化を目指す。
		実績値	—	—	—	—	22				
<b>(2) 人材育成、雇用対策</b>											
<b>1) 農業の担い手の確保・育成</b>											
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 /15ha(5年間)→20ha(6年間)	目標値	0	0	5	5	5	5	15→20	A	平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。基盤整備の要望はあることから、取り組みやすい補助メニューの調査検討が必要。
		実績値	11.58	7.61	0	0	0				
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 /280ha(平成26年)→320ha(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	320	320	320	D	現在、水稲の防除(農業散布等)は浦臼町の無人ヘリコプター防除の組織へ委託しているが難しくなってきた。今後、JAと連携し、水稲の防除を担う受託組織の育成について検討を進める。
		実績値	295	261	237	214	202				
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 /2人(5年間)→3人(6年間)	目標値	0	0	0	1	1	1	2→3	A	農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。
		実績値	1	0	0	1	0				
スマート農業推進事業	取り組みを行った技術体系の数 /2種類(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	2	2	2	D	開始初年度で農業者への周知が行き届かず、実績が伸びなかった。周知方法等を含め検討を進める。
		実績値	—	—	—	—	0				
<b>2) 医療従事者の確保・育成</b>											
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 /32人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	32	32	32	C	学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が当院に就職された。今後の取り組みとしては、引き続き病院説明会などにおいて、学資金等の説明を行い安定確保に努める。
		実績値	—	—	24	19	21				

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上  
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

【資料3】

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の 見込み	現時点 達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
3) 介護従事者の確保・育成											
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／15人(5年間)→18人(6年間)	目標値	3	3	3	3	3	3	15→18	C	1人が介護資格を取得しており、目標値を下回った。介護サービスの質の向上と人材育成・確保を目的に、事業所(社会福祉法人)の理解と積極的な取り組みがあったことから、今後も継続し介護人材の安定確保に努める。
		実績値	5	0	3	2	0→1				
4) 企業立地等の促進による就労の拡大											
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／25人(5年間)→30人(6年間)	目標値	5	5	5	5	5	5	25→30	D	本年度、助成対象となる工場施設の増築が1件あったため、次年度に雇用に係る調査を行う。今後においても、事業内容の理解を深めるため、分かりやすいパンフレット作成に努め広く周知活動を行っていく。
		実績値	0	0	0	1	0				
5) ICTを活用した子どもの育成											
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	440	440	440	A	新型コロナウイルスの感染拡大により一部事業が中止となったため、年度比796人参加者が減少したが、目標値を上回る実績となった。
		実績値	425	526	886	1,255	1,140→459				
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進											
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 ／450人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	415	425	450	450	450	C	企業の人手不足は全国的な問題であり、砂川市も同様の現状にあることから、目標の達成には至っていない。長期的な取り組みが必要であることから、引き続き同様の取り組みを継続していく。
		実績値	—	—	367	368	238→309				
	地元高校から市内企業に就職した割合 ／65.4%(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	65.4	65.4	C	市内就職者数は前年と比べると微増しているが、就職人数も増加しているため割合は減少している。引き続き同様の取組を継続していく。
		実績値	—	—	20.0	44.7	35.3→36.7				
	地元の参加企業数 ／15社(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	15	15	15	A	前年程度の参加企業数は確保されている。引き続き、事業周知を行い参加企業の増加を目指す。
		実績値	—	17	35	43	42→43				

施策・事業KPI 達成度A:9個 達成度B:0個 達成度C:5個 達成度D:3個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上  
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

【資料3】

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	150	150	150		転出超過が前年度と比べて減少した。
			実績値	111	57	47	107	106→70		A		
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	1,342	1,342	1,342		雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ったことにより、年間を通して観光客が増えた。特にGW期間中(10連休)の観光客が全体的に増えた。
			実績値	1,234	1,209	1,413	1,623	1,719→1,626		A		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進											
1) 移住定住の促進											
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／6人(5年間)→8人(6年間)	目標値	0	0	2	2	2	2	6→8		平成31/令和元年度のお試しハウス利用は延7組15人であったが、移住者は0人であった。就業情報の提供の他、市HPや、協力隊FB等によりまち全般の幅広い情報発信をしており、引き続き情報提供の充実を図る。
		実績値	0	6	0	2	0		A		
農業体験事業	新規就農者数 ／5人(5年間)→7人(6年間)	目標値	—	0	1	2	2	2	5→7		新規就農者の募集を行うとともに、関係機関との受入体制の強化を図る。
		実績値	—	0	2	0	0→3		D→C		
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加											
1) 観光振興の推進											
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	354,000	354,000	354,000		今年度も引き続き、7.6%の伸びがあり、目標値を達成することになった。要因としては、本やテレビなどにマスメディアで「すながわスイートロード」や砂川市自体を紹介されたことが大きい。また災害などの際もこまめに更新をしており、市民や来砂している方に情報提供を怠っていないこともアクセス数の増に繋がった。今後も引き続きアクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持し、更新をこまめに行っていくなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	318,484	314,737	324,651	353,234	380,000		A		
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	260	260	260		スマートインターチェンジ開設による利便性の向上や、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した観光PRを推進したことで、まちなかを回遊する観光客が増加した。引き続き、「スイートロード」などまちなか観光施設の観光PRを充実させ、砂川の魅力の向上を図る。
		実績値	235	220	261	392	423→406		A		
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	19,500	19,500	19,500		観光マップに加え、雑誌・テレビなどマスメディアの活用により砂川の魅力発信を行ったことで、観光協会ホームページの閲覧件数が増加した。引き続き、観光協会と連携を図り、さらなる情報発信の充実やフリーWi-Fiの普及などを行い、観光客の誘客を図る。
		実績値	—	915	77,810	95,942	124,764→132,246		A		
	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	260	260	260		スマートインターチェンジ開設による利便性向上や観光協会ホームページ、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ってきたことで、まちなか観光施設の入込客数が増加した。引き続き、観光協会と連携し、効果的な情報発信などにより観光客の誘客を図る。
		実績値	—	220	261	392	423→406		A		
	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(令和元年→令和2年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	1,342	1,342	1,342		観光資源の充実や雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ったことにより、GW期間(10連休)を中心に年間を通して観光入込客数が増加した。今後は、これまでの情報発信に加え、SNSを活用したさらに効果的な観光PRを行い観光振興を図る。
		実績値	—	—	1,413	1,623	1,719→1,626		A		
	スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(令和元年→令和2年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	1,800	1,800	1,800		例年とおおむね同様の事業を計画どおり実施できたことに加え、スイートスタンプラリーの拡大など事業内容を見直し充実させたことで前年度を若干上回る参加人数であった。今後は、公式キャラクターの活用などにより「スイートロード」の知名度を高め、観光客の誘客を推進する。
		実績値	—	—	1,683	1,497	1,550→1,534		D		
	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／5,000件(5年間)→6,200件(6年間)[平成27-28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	1,200	5,000→6,200		ふるさと納税全体の件数が昨年度に比べ大幅に増加したことにより「すながわスイーツ」の返礼品件数が増えている。返礼品発送時には観光マップを合わせて送るなど観光PRも推進されていることから、引き続き、担当部署との連携を図る。
		実績値	1,235	874	719	1,496	2,490→2,575		A		
	DMO加盟団体数 ／10団体(令和元年→令和2年)[平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	10	10	10		DMO設立に向け、マーケティング調査や商品券発行事業を行い、3年間の活動に基づいた専門家による事業評価を行ったが、今後のDMO設立は困難であるとして、本年度をもって協議会解散の見通しとなった。
		実績値	0	0	13	14	16		A		
(3) 高等学校の活性化											
1) 地元学校への進学促進											
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→120人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	120	120	120		平成31年4月の入学者は中学校卒業者の減少、職業科高校への進学者の増加などにより、前年度を大きく下回った。中学生や保護者に砂川高校の特色を理解してもらえるよう周知に努め、支援を継続していく。
		実績値	100	88	112	112	78		D		

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:0個 達成度C:1個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上  
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

【資料3】

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の 見込	現時点 達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)→480件(6年間)	目標値	80	80	80	80	80	80	400→480		大きな変動は無く、近年は同水準で推移している。
			実績値	64	77	56	58	72→63		B→C		
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	1.54	1.54	1.54		平成31年の出生数は76人で前年と比べ24人と大きく減少した。合計特殊出生率も減少した。単年での評価は難しいが、25～39歳女性の人口が71人減少していた。また、20～24歳女性の人口も8人減少していたが、出生数が6人増加していた。出生順位別の割合をみると、第1子の割合が増加している。
			実績値	1.17	1.20	1.14	1.40	1.13		C		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の 見込	現時点 達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み	
(1) 若い世代の結婚支援												
1) 婚活支援の推進												
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	2 2	— 2	— 2	— 1	5 2→1	5	5	5	D	例年実施されているJCIに加え、YEGが野外イベントに合わせて新味ある手法で実施した。実施にあたっては団体の負担も大きいので、工夫や協力・連携により、参加者募集等の負担軽減を図った中で開催を促し、イベント実施につなげる。
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援												
1) 妊娠・出産への支援の実施												
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	800 498	800 631	800 717	800 631	800 514→525	800	800	800	C	妊娠届出数が75名、転入者13名と減少し、使用延件数が減少した。妊婦の経済的負担を軽減する為、今後も継続する。
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	70 85.7	70 80.0	70 25.0	70 87.5	70 100.0	70	70	70	A	実績値は目標値を上回った。今年度申請者実3名にアンケートを行い、全員から回答を得、3名全員が満足と回答されていたが、さらなる助成拡大を望む声があった。次年度も継続しながら今後の検討課題としていく。
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	75 80.2	80 79.4	85 74.3	90 87.3	90 61.1→74.5	90	90	90	D→B	マザークラスへの参加は、初妊婦で20.6%(見込)となっており、就労者が多く全員の参加は難しいが、妊婦の学習の機会として、助成を継続し、妊婦訪問などの個別支援も継続していく。乳児全戸訪問は、母の長期入院により、98.7%の実施率となったが、父との電話や面接にて状況を確認し、必要な支援を行った。
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	30 29.9	30 39.5	30 35.0	30 61.4	30 35.1→44.7	30	30	30	A	実績値(見込)は計画値を上回った。利用者は、6件と少数ではあるが、事前に登録しておける妊婦の安心につながっていることから、今後も周知を徹底し継続していく。
2) 子ども・子育て支援の充実												
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	— —	— —	— 86.0	— 91.0	90 90→100	90	90	90	A	延利用人数は239人と前年を上回った。しかし登録数は60人と減少した。各施設を通じ毎年案内はしており、世帯として何らかの保育が可能という方が増えたということも考えられる。各施設を必要とする保護者のニーズには応えることができていることから、引き続き安全安心な環境整備を図る。
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／750組(5年間)→900組(6年間)	目標値 実績値	150 98	150 90	150 38	150 93	150 90→102	150	150	750→900	C	今年度も計画値に満たなかったが、前年と同程度の参加を得ることはできた。各施設にチラシ等の掲示を依頼し、PRを図っており、1つの保育所では給食体験企画を実施した。今後も保育事業の理解と地域の保護者への支援を継続していく。
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	— 384	— 413	— 356	— 732	900 671→679	900	900	900	C	前年よりも利用者が減少しているが、希望者には保育士不足等による利用制限をかけることなく受け入れができた。今年度から通常保育の入所児童が増加しており、次年度以降待機児童の受け皿的要素も大きくなることが予想されるが、保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(平成26年)→0人(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	0 0	— 0	— 0	— 0	0 0	0	0	0	A	今年度も待機児童を出さず運営ができた。しかしながら、指導員に退職を予定している者もあり、次年度の運営に支障がでないようしなければならない。また民営の北光学童保育所においては、指導員の高齢化等により運営が難しくなることが予想されることから、引き続き公営化や学校内開設について検討する必要がある。
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減												
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	205 —	— 209	— 220	— 224	225 252→253	225	225	225	A	昨年と比べ入所者は大幅に増加した。特に1歳児の入所希望が多く、施設面積の関係もあり2歳児入所を減少させて対応するなど入所させた。今後も低年齢での入所を希望する保護者が多い見込みであるため、待機児童が発生する可能性があり、対応を検討する必要がある。
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	— 78.1	— 90.1	— 89.0	— 88.7	83 81→88	83	83	83	A	【増減理由】通園人数が計画値よりも少なかったため 【今後の取組】令和元年10月からの幼児教育・保育料無償化に伴い本事業が廃止となるが、本事業対象幼稚園(未移行幼稚園)は、社会福祉課所管の施設等利用給付事業に移行されるため、保護者の経済的負担の軽減は引き続き支援される。
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 ／83%(令和元年→令和2年)	目標値 実績値	— —	— —	— 89.0	— 88.7	83 84.6→88	83	83	83	A	実績値は目標値を上回っているものの、保育所や幼児教育施設を利用していない未就学児や病院等の事業所内保育所、認可外保育所等への入所者が増加したため、昨年よりも下回った。今年度は10月から幼児教育・保育の無償化が開始されたため、4月分から9月分に係る保育料について、対象となる保護者の経済的負担軽減は図られた。

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上  
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

【資料3】

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(令和元年→令和2年)	目標値		205	—	—	—	225	225	225		昨年と比べ入所者は大幅に増加した。特に1歳児の入所希望が多く、施設面積の関係もあり2歳児入所を減少させて対応するなど入所させた。今後も低年齢での入所を希望する保護者が多い見込みであるため、待機児童が発生する可能性があり、対応を検討する必要がある。
		実績値		208	209	220	224	252→253			A	
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／189,000枚(5年間)→225,000枚(6年間)	目標値		39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	36,000	189,000 →225,000		計画値と実績値の差の主な理由は、出生数・転入者数が想定よりも少なかったことによるもの。未申請世帯もあることから、社会福祉課と連携し、児童手当現況届提出時に申請させるなど、対応を継続する。
		実績値		38,530	36,510	34,170	33,140	35,350→30,230		36,000	B	
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→60%(令和元年→令和2年)	目標値		—	—	—	60	60	60	60		支給枚数は今年度の12月末日までに支給した枚数で、換金枚数についても今年度12月末日までに使用された枚数で算出しているため、昨年度未使用分も換金枚数に含まれているため100%を超える利用率となっている。子育て世帯の経済的負担軽減になっており、アンケートにおいても良い評価を受けているため、今後も継続する。
		実績値		—	—	—	70.6	109→112		60	A	
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→80%(令和元年→令和2年)	目標値		—	—	—	70	80	80	80		実績値は19.6%と目標と乖離しているが、昨年度より増加している。またクーポン券を使用した世帯は471世帯(配付世帯数816世帯)で、57.7%と半数以上の世帯が利用しており、世帯の使用率も増加している。事業の目的である親子で一緒に過ごす機会づくりの一助となっていると考えられる。事業を開始して2年を経過し、周知も進んできている事業であるので、事業を継続していく中で、対象者や配付枚数の見直しについても検討していく。
		実績値		—	—	—	19.3	19.8→19.6		80	D	
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(令和元年→令和2年)	目標値		30	35	40	45	50	50	50		昨年度に引き続き自己負担1,000円で実施し、目標値を上回る受診率を維持できている。今後も継続していく。
		実績値		48.4	49.0	49.0	52.1	55.9		50	A	

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:2個 達成度C:4個 達成度D:3個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上  
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

【資料3】

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の 見込	現時点 達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見	
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)→462件(6年間)	目標値	77	77	77	77	77	77	77	385→462	A	制度の見直し・拡充や消費税増税前の需要もあり、申請件数が大きく増加した。持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92	81	120	149					
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	100	100	100		A	住宅供給4戸に対して3戸入居中。(3世帯7人)
			実績値	—	100	100	75	100→75					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の 見込	現時点 達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み		
<b>(1) 安心なくらしの確保</b>													
<b>1) 医療等の充実</b>													
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(令和元年→令和2年)	目標値	6	0	0	0	0	6	6	6	A	計画値と実績値の増減なし。平成28年7月に稼働し、平成29年度以降、自治体病院以外の医療機関等との連携及び各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。	
		実績値	6	0	0	0	0						
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／41,000件(5年間)→51,000件(6年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	41,000	51,000	A	開始から5年半が経過し、事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に推移している。また、医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も順調に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	469	11,107	15,745	17,845	17,914	21,866					
<b>2) 健康維持・増進の推進</b>													
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(令和元年→令和2年)	目標値	34	42	42	45	45	45	45	45	B	実績値は計画値には到達しなかったが、がん検診計画検診は勧奨方法を工夫し、また国保特定健診では地道な訪問勧奨を重ね、受診率が上がったことで、30年度の実績値を上回った。乳児健診の受診率は変わりなくほぼ100%を維持している。がん検診、国保特定健診はさらなる受診率向上にむけて取り組んでいく。(30年度確定の実績値32.8%)	
		実績値	36.3	36.4	32.2	31.5	38.4	37.0					
健康ポイント事業	ポイントカード発行者数 ／1,500人(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	1,500	1,500	1,500	1,500	C	初年度のため事業開始が7月となり、申請及びポイント付与期間が11月までの5カ月間と、事業の周知と実施期間短かったため、実績値は目標の7割弱にとどまった。令和元年度のポイント交換時に、次年度申請の勧奨をし、さらに各事業実施時に積極的に勧奨を行う。	
		実績値	—	—	—	—	991						
<b>3) 高齢者等の在宅生活の支援</b>													
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)→792件(6年間)	目標値	132	132	132	132	132	132	132	660→792	D	本年度は記録的な少雪となったことにより、申請実績は1件であったが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があると判断していることから、継続実施とする。	
		実績値	52	8	85	36	0	1					
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)→433世帯(6年間)	目標値	100	100	59	58	58	58	58	375→433	A	利用者の死亡や転出などにより、前年度の利用件数より減少しているが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活の確保につながっているため、今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。	
		実績値	95	92	85	91	79						
<b>4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討</b>													
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	2	2	2	2	D	計画値と実績値の増減なし。砂川駅にエレベーター設置に向けてJRとの協議を進めながら計画案の具体化に向け検討中。また、待合室については元年7月25日供用開始した。	
		実績値	0	0	0	0	0						
<b>(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化</b>													
<b>1) 良質な住宅ストックの確保</b>													
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)→210件(6年間)	目標値	35	35	35	35	35	35	35	175→210	A	申請件数の増加。持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。	
		実績値	50	43	35	49	52	55					
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)→252件(6年間)	目標値	42	42	42	42	42	42	42	210→252	A	制度の見直し・拡充や消費税増税前の需要もあり、申請件数が増加した。リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。	
		実績値	45	49	46	71	97						
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)→25件(6年間)	目標値	0	5	5	5	5	5	5	20→25	A	補助金制度のPRを継続して行ったことで広く周知が図られたことから情報提供件数が目標値よりも増加した。引き続き、空き家所有者への意向調査や補助金制度のPRを行い、空き家の利活用を促進する。	
		実績値	0	11	14	28	23	26					
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	100	100	100	100	A→C	住宅供給4戸に対して3戸入居中。(3世帯7人)住居の適切な維持管理を行うとともに、入居者を確保するため、市内企業等に入居募集のPRを継続して行っていく。	
		実績値	—	100	100	75.0	100	75					

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上  
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

【資料3】

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度	2年度	6年間の見込	現時点達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成											
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施											
砂川版生涯活躍のまち(CORC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(令和元年→令和2年)	目標値	—	—	—	—	3	3	3	D	事業自体が情報収集の段階であり、具体的な事業に至っていない他、当初想定していた近隣市町の連携も、他市で先行して実施しており連携に至っていない。
		実績値	0	0	0	0	0				
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／6人(5年間)→8人(6年間)	目標値	—	0	2	2	2	2	6→8	A	昨年から地元学生を対象とした企業説明会の実施であるが、砂川高校から48名が参加しているなど地元企業を知る機会となっている。当事業を通じた移住者は確認できていないが、今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信を引き続き取り組む。
		実績値	—	6	0	2	0				
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保											
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり											

施策・事業KPI 達成度A:7個 達成度B:1個 達成度C:2個 達成度D:3個

施策・事業KPI計 達成度A:34個 達成度B:3個 達成度C:11個 達成度D:10個